学校番号	216

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂　新化学基礎　（第一学習社）						
副教材等	改訂　ネオパルノート　化学基礎　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、日常生活で利用している身近なものを具体例として取り入れながら、わかりやすい授業を行います。
・私たちの暮らしを豊かにしている物質に関心を持ち、人間生活に果たしている役割を理解するために観察、実験や教室での演示実験を行い、自ら考え、基礎知識を習得します。
・繰り返し復習するために、授業用のノートを作り、教科書や問題集を活用して理解を深めます。これらの提出状況や授業の様子から生徒の理解度を確認・把握しながら、ゆっくり授業を行います。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。そのために、本校では、
・自然の事象に関心や探求心を持ち、科学的態度を身につける。
・自然の事象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけるとともに基礎学力の定着をはかる。
・化学がどのように身近に利用され、役立っているかを知る。　　ことを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付ける。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。
評価方法	小テスト 実験レポート グループ活動	小テスト 実験レポート 定期考査 グループ活動	小テスト 実験レポート 定期考査 グループ活動	小テスト 実験レポート 定期考査 グループ活動

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	物質の構成	物質の分離	○		○	○	a:物質に関心を持ち、物質の取り扱いや成り立ち、状態変化に関して意欲的に探究しようとする b:元素という概念から化合物と純物質という分類を基に、身の回りの物質の物質についてもあてはめ考察できる。 c:物質の分離に関する種々の化学的方法と操作および試薬を安全に扱う方法や基本的な実験器具の名称、使用法を習得する。 d:化学物質に対して化学的知識を生かし、適切に扱う方法を身に付けている。また、物質についての探求の方法を身に付け、その技能を習得し的確に表現できる。	小テスト 実験レポート 観察等 定期考査 グループ活動
		物質を構成する元素とその確認		○	○	○		
		物質の三態	○		○	○		
		原子の構成と同位体	○	○		○		
		原子の電子配置	○			○		
		元素の周期律と周期表	○		○	○		
2学期	化学結合	イオン	○			○	a:化学結合や物質量について関心をもち、意欲的に探求しようとする。 b:化学結合の概念を基にその多様性と物質の性質について考察できる。 c:観察、実験のデータや調査結果を基にして、現象を科学的に探求する方法を身につけ、そこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。 d:化学結合の多様性について理解・習得し、化学結合と結晶性質との関連について基本的な知識を身に付けている。	小テスト 実験レポート 観察等 定期考査 グループ活動
		イオン結合とイオン結晶	○			○		
		共有結合と共有結晶	○		○	○		
		分子からできる物質				○		
		金属結合と金属			○	○		
	物質の変化	物質量		○				
		化学反応式	○	○				
		化学反応式の量的関係		○		○		
3学期		酸と塩基	○			○	a:酸・塩基や酸化還元反応について関心をもち、意欲的に探求しようとする。 b:物質の変化に関連した学習課題に対して、観察・実験・調査などを計画・実施して得られた結果に基づき、総合的に考察できる。	小テスト 実験レポート 観察等 定期考査 グループ活動
		酸・塩基の強弱と分類			○			
		水素イオン濃度とpH		○	○			
		中和と塩			○	○		
		酸化・還元	○					
		酸化剤と還元剤		○	○			
		金属のイオン化傾向	○					

		電池と電気分解	○			○	c:物質の変化に関連した課題に対し、観察・実験・調査などを探究の方法を用いながら行い、その技能を修得している。 d:観察・実験・調査などを通して「物質の変化」に関連した学習課題についての基本的概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。